

英語科学習指導案

日 時 令和3年5月28日(金)
学 級 3年5組(40名)
場 所 体育館
授業者 教諭 岩崎 健

1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit 3 Animals on the Red List

2 単元について

本単元では、世界の絶滅危惧動物が取り上げられており、国際自然保護連合(IUCN)が絶滅危惧動物についてまとめたレッドリストから多くの動物が絶滅の危機に瀕していることを学ぶことができる。また、日本のトキ、コンゴ民主共和国のゴリラについて学ぶことで、何が原因で絶滅に瀕しているのかを知ることができる。多くの絶滅危惧動物を守るために自分たちにできることは何かを考えさせることは生徒にとって有意義であると言える。この単元の学習を通して、言語材料としては、It is...(for+人)+to+動詞の原形、want+(人など)+to+動詞の原形、let[help]+(人など)+動詞の原形を扱う。It is...(for+人)+to+動詞の原形を用いて自分の主張を述べ、want+(人など)+to+動詞の原形やlet[help]+(人など)+動詞の原形を用いて、聞き手や読み手に具体的にどのような行動を取ることが重要であるかを伝えるといった場面設定を行い、それらを使用させながら定着を図りたい。

本学級の生徒は、学習に前向きに取り組もうとする生徒が多く、進んで意見を発表する生徒がいたり、互いに教え合ったりする場面が見られることから、英語をもっと分かるようになりたいと考えていることがうかがえる。一方で、次のような点が課題として見られることから、本単元の学習を通して生徒がこの課題の解決に向かっていくような指導を行っていききたい。

- ① 音読や簡単なやり取りは意欲的に行うが、英語で自分の意見や考えを伝えることを苦手に行っている。
- ② 「書く」活動では、情報を相手に伝えようとする意欲は高いが、文章の構成を整えたり、相手意識をもちながら書いたりすることが苦手な生徒が多い。(ケース2に相当すると判断)

指導にあたっては、特に上記の3つの課題解決を目指し、生徒がより意欲的に英語学習に取り組んでいけるような指導の手立てを講じたい。①については、帯活動として英語で自分の意見や考えを相手に伝える活動を設定し、意見や考えを伝える際の表現に習熟させたい。具体的には、教師が与えたトピックについて自分は思うのかをペアで伝え合う活動を行う。対話的な言語活動を通して、本単元の言語材料が意見などを伝えるのに有効であることに気付かせたい。②については、文章を構成する際にメモカードを活用した学習活動を設定し、伝える内容やその流れを検討できるようにする。それによって、生徒が視覚的に文章の構成を確認し、相手に分かりやすく伝えようとする意識を高められるのではないかと考えた。また、本単元の学習課題を「ALTに絶滅危惧動物のことをメッセージカードで紹介しよう」と設定することにより、教科書で読んだことをもとにして動物のことや自分の意見や考えを一方向的に伝えるだけでなく、読み手であるALTへの相手意識(他者配慮)をもたせるようにしたい。本単元の指導を通して、生徒が自分の学習の成果を実感できる場面をつくり、相手に自分の考えなどを伝えようとする意欲を高め、今後の英語学習にも積極的に取り組んでいこうとする態度を育てたい。

3 単元の目標

ALTに絶滅危惧動物のことや自分の意見や考えを理解してもらえるように、教科書で読んだ絶滅危惧動物について、その情報や自分の意見などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(書くこと)

4 単元の評価規準（書くこと）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 It is ... (for + 人) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形を用いた文の構造を理解している。 2 絶滅危惧動物について、自分の意見などを It is ... (for + 人) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	絶滅危惧動物のことを伝えるために、教科書で読んだことをもとにペアでやり取りをするなどして、その情報や自分の意見などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	絶滅危惧動物のことを伝えるために、教科書で読んだことをもとにペアでやり取りをするなどして、その情報や自分の意見などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全9時間）

【学習課題：ALT に絶滅危惧動物に対する自分の考えをメッセージカードで伝えよう】（☐ は本時扱い）

時間	ねらい（■），言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	■ 単元の目標を理解することができる。 ■ It is ... (for + 人) + to + 動詞の原形を用いて、自分の考えなどを伝えることができる。 ① 単元の目標を設定する。 ② 本文(Scene 1)の概要を捉える。 ③ It is ... (for + 人) + to + 動詞の原形の特徴やきまりを簡潔に確認する。	○			・ 第1時から第5時の学習の振り返りはノートで適宜行わせるようにする。 ・ 記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に観察する。
2	■ want + (人など) + to + 動詞の原形を用いて、誰に何をしてももらいたいかを伝えることができる。 ① 本文(Scene 2)の概要を捉える。 ② want + (人など) + to + 動詞の原形の特徴やきまりを簡潔に確認する。	○			
3	■ 人にしてもらいたいことを伝えるために、家での手伝いや得意なことなどについて伝え合うことができる。 ① 対話を聞き、質問に答える。 ② 家での手伝いや得意なことについて伝え合う。	○			
4	■ 絶滅のおそれのあるトキに関する文章の概要を捉えたり、分かったことを伝え合ったりすることができる。 ① 本文(Read and Think1)の概要を捉える。 ② let [help] + (人など) + 動詞の原形の特徴やきまりを簡潔に確認する。 ③ 本文を読み、トキについて分かったことを伝え合う。		○	○	
5	■ 絶滅のおそれのあるゴリラに関する文章の概要を捉えたり、分かったことを伝え合ったりすることができる。 ① 本文(Read and Think 2)の概要を捉える。 ② ゴリラについて分かったことや自分たちにできることについて伝え合う。		○	○	
6	■ やり取りを通して、メッセージを書くために必要な情報や表現などを整理することができる。 ① 絶滅危惧動物のことや自分の考えなどをペアで伝え合う。 ② 情報や自分の考えなどを整理し、メッセージを書く。		○	○	・ 活動の観察およびワークシートの記述内容により評価する。

7	■ 絶滅危惧動物について、簡単な語句や文を用いてメッセージを完成させることができる。 ① 文章の構成についてモデル文を見ながら考える。 ② 情報を整理したり付け加えたりしながらメッセージを完成させる。	○	◎	○	- 活動の観察およびメッセージの記述内容により評価する。 - 後日 ALT に渡し、コメントをもらう。
8	■ 守りたい日本の動物について、簡単な語句や文を用いて記事を書くことができる。 ① 紹介したい動物を選び、口頭で紹介する。 ② 情報を整理して記事を書く。	○			
9	■ 単元のまとめをする。 ① 単元テストをする。 ② 単元の振り返りをする。	○			

6 本時の実際（6／9）

(1) 題 材 Unit 3 Animals on the Red List Read and Think 1, 2

(2) 目 標

ALT に絶滅危惧動物のことや自分の考えなどを理解してもらえるように、ペア活動などを通してその情報や自分の考えなどを整理し、メッセージを書くことができる。（書くこと）

(3) 授業設計の工夫

交換留学生に鹿児島県の偉人である黒田清輝について紹介するために、与えられた情報を基にスピーチ原稿を完成させるというパフォーマンステストを実施し、生徒の書いたスピーチ原稿を評価表で見取った。

生徒の原稿を見ると、スピーチ原稿であるにも関わらず、与えられた情報を伝えるだけになっており、他者配慮という観点に欠けるものが多く見られた。また、黒田清輝や彼の作品に対する自分の意見や考えを加えて伝えようとする生徒が少なかった。

A	Meg に黒田清輝や彼の作品のことを分かってもらうために、多くの情報を整理し、Meg の意向を確認するなどして、自分の意見などを加えながら原稿を書いている。
B	Meg に黒田清輝や彼の作品のことを分かってもらうために、2つ程度の情報を整理し、自分の意見などを加えながら原稿を書いている。
C	B 未満とする。

評価の結果、「A」の生徒が 14.3%、「B」の生徒が 62.9%、「C」の生徒が 22.9%であった。これを基準に照らすと、「ケース 2」となる。

〔ケース 2〕（授業改善の手立て）

次時以降の授業において、B 評価の生徒を A 評価に高めることをねらいとして手立てを講じる。

これに照らし、本授業では、①自分の意見や考えを伝える方法を身に付けるための帯活動の設定、②文章の構成を整えるためのメモカードの活用を行う。

①については、自分の意見や考えを伝え合う対話的な活動を設定し、その表現の仕方に慣れ親しませ、意欲的に自分の考えなどを伝えることができるようにする。題材は生徒に馴染みのあるものを取り上げ、自分の意見や考えなどを積極的に相手に伝えようとする意欲を高めたい。その際に、言語材料である It is...(for+ 人)+to+ 動詞の原形, want+(人など)+to+ 動詞の原形などを用いることが有効であることに気付かせ、その定着を図っていきたい。

②については、文章の構成をする際にメモカードを活用させることによって、伝える内容や情報の順番を視覚的に確認し、相手に分かりやすく伝えようとする意識を高められるのではないかと考えた。生徒に文章の構成を意識させ、必要に応じて情報の入れ替えなどを行わせることで、相手に配慮しながら情報を伝えることができるようにしたい。また、文章を書く場面において、事前に Writing Check Sheet で「主題」、「構成」、「他者配慮」の項目を確認させることによって、構成を考えながら書くことにつながるのではないかと考えた。

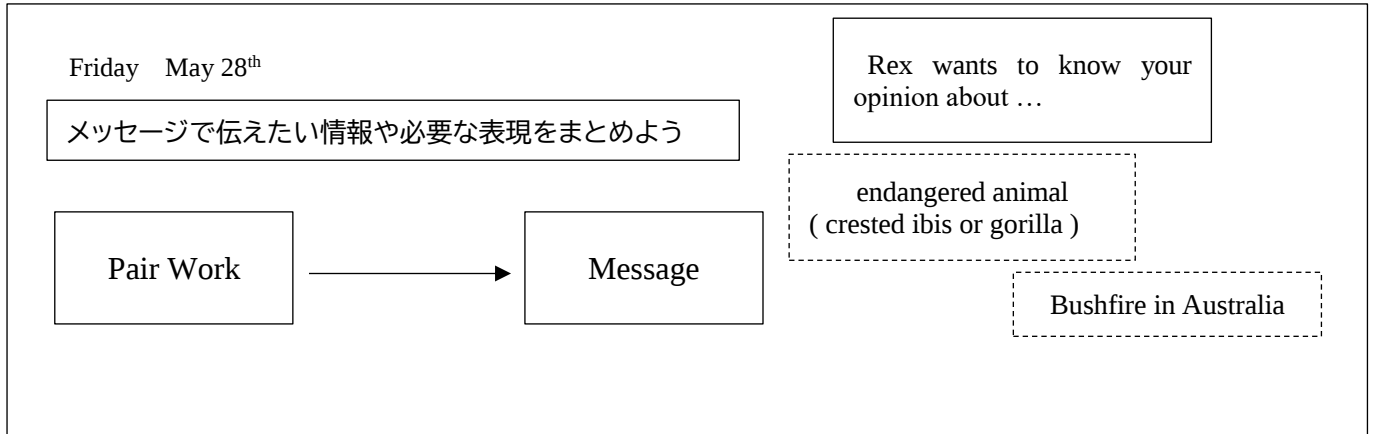
(4) 展 開

時 間 (分)	学習過程	主な学習活動（・予想される生徒の姿）	○ 指導上の留意点 ◎ 評価 [] 授業改善の手立て
5	1 Greetings 2 Warm-up	1 あいさつをする。 2 Small Talk をする。	○ 英語学習の雰囲気をつくる。 [] ○ 意見や考えを伝える表現を使うような活動にする。 ○ モデルを示し、活動のイメージをもたせるようにする。
2 28 10	3 Today's Goal 4 Pair Work 5 Writing	3 本時の目標を確認する。 メッセージで伝えたい情報や必要な表現をまとめよう 4 絶滅危惧動物に関する情報や自分の意見などを伝え合う。 (1) 絶滅危惧動物についてペアで伝え合う。 (2) 別の生徒とペアを作り、絶滅危惧動物について伝え合う。 ・ メモカードで確認をしながら、絶滅危惧動物の情報や自分の意見などを伝えている。 ・ 教科書を見ながら情報や表現を抜き出そうとしている。 5 ALT にメッセージを書く。 (1) Writing Check Sheet で書く際のポイントを確認する。 (2) ワークシートにメッセージを書く。 ・ 動物の情報や自分の意見などをメモカードで確認しながらメッセージを書いている。 ・ 教科書の本文を引用するなどして、情報や自分の意見などを書こうとしている。	○ 目的意識を持って学習ができるようにする。 [] ○ メモカードで内容や話の流れを確認できるようにする。 ○ 相手の発表の感想や表現の仕方などを共有させるようにする。 ○ 相手を変え、何度か活動をさせることによって、内容や表現に変容が見られるかを観察する。 [] ○ Writing Check Sheet で文章の構成を考えさせるようにする。 ○ 机間指導を行い、生徒の様子を観察しながら必要に応じて支援を行う。 ◎ 絶滅危惧動物について、情報や自分の意見などを整理して、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いているか。【思考・判断・表現】
5	6 Reflection 7 Greetings	6 本時の学習を振り返る。 7 終わりのあいさつをする。	○ 本時の学習を振り返らせ、できるようになったことなどを書かせる。

(5) 本時の評価基準

A	絶滅危惧動物のことを分かってもらうために、様々な情報を整理し、ALT の気持ちを考慮しながら絶滅危惧動物のことや自分の意見などを書いている。
B	絶滅危惧動物のことを分かってもらうために、いくつかの情報を整理し、絶滅危惧動物のことや自分の意見などを書いている。
C	B 未満とする。

【板書計画】



【評価表】

思考・判断・表現（書くこと）

項目	評価	評価基準
主題	a・b・c	a: 絶滅危惧動物のことをくわしく伝えようと様々な情報を書いている。 b: 絶滅危惧動物のことを伝えようといくつかの情報を書いている。
構成	a・b・c	a: 絶滅危惧動物のことや自分の意見などを読み手に分かりやすく伝えるために、「はじめ—展開—まとめ」という構成で書いている。 b: 絶滅危惧動物のことや自分の意見などを書いている。
他者配慮	a・b・c	a: 読み手が求める情報を書くだけでなく、読み手の興味・関心をもたせるような工夫が見られる。 b: 読み手が求める情報を書いている。

09(英語)- 6